

# ベルーフニュース vol.39

発行日：2021年02月15日

## ♪アフリカのセネガルの若者支援

ソーシャルファーム・ヨーロッパ CEFEC は、2016年からEUの助成を受けてルーマニアの事務局が中心となり、若者への就労教育支援を手掛けています。精神障害者の就労の支援と基本的な理念は同じです。即ち働くことが人間の原則であり、そのための条件を満たす支援を行うことです。現在の活動として行われているのはセネガルの若者たちへのIT教育です。担当しているのは、北イタリアのソーシャルファーム連合です。写真の女性フェリシタス・クリスモンさんが直接支援している様子がこの程伝えられています。フェリシタスさんは精神病院を廃したバザーリア所縁の地トリエステで2018年に開催されたCEFECでの議長です。以来、ベルーフとも知己となり、連携を続けています。

アフリカ大陸の大西洋に面するセネガルは日本からは最も遠い西側の国です。セネガルの若者たちがパソコンの勉強に取り組んでいる様子が伝えられています。写真にはCEFECの支援の姿勢が端的に表れています。フェリシタスさんと若者たちが横並びで座って何やら話しながら追究している光景です。ソクラテスが、私は教えたのではない一緒に学んだのだ、というのを彷彿とさせます。尊重しつつ支援するという、人間に対する本質的理解に立ったもので、我々もCEFECとの連携ではこの姿勢による援助を受けています。同じ目的に向かって、共に同志として取り組むものです。そこには、か弱いものを助けるという贖福祉とは対極の凛とした姿勢の緊張感が伺われます。若者たち同士の写真も含めて、ベルーフの学習の様子とよく似た感じもします。レベル差は有っても目的に向かっては対等との思想の現われです。covid-19による世界の状況からすると、コロナ



に負けるなというレベルを遥かに上回り、未来を作っているという賢さの実践に誇りを持つものです。

## ♪covid-19 真っ只中の就労報告

山越さん（仮名）は1月から就労しました。仕事は在宅勤務即ちリモートワークです。最初からリモートワークでの勤務というのは、ベルーフの就労者では初めてのケースです。covid-19 によつてのリモートワークは、止む無く始めている企業が大半だと思います。山越さんは専門職で正社員での採用です。この条件で最初から障害者の常用の勤務形態としては、他に例を知りません。この先進性は、精神障害者就労で専門職就労を目指している機関でなければ解らないものだろうと思います。入社後現在のところは業務に必要な腕を磨いており、いずれ現場配属になりますが、リモート配属がどの様に行われるのか注目しております。山越さんを専門職障害者のリモートワーク就労の嚆矢とするべく本人と会社とベルーフの三者連携を進めていきます。山越さんはキャリアチェンジで、事務職からIT専門職に変わるべく、ベルーフで約一年半取組んでいます。ビジネスパーソン、フォロワーシップ、ITリテラシー、プログラミング、データサイエンス、ITプロジェクト、インストラクション等の研修によるビジネス専門技能の習熟が課題です。結構、手強い内容です。しかしこのレベルが企業の採用基準なので、妥協が難しいのです。妥協は志望の挫折を招きます。山越さんも挫折の手招きを何度も受けましたが、何とか挫けずこぎつけました。何事も成功を特別視するのは一般的傾向ですが、山越さんは特別ではありません。むしろ地道にコツコツ積み上げていく平凡な努力家です。傍から見ると愚鈍とも思われる歩み方です。それが成功要因というところが人間の面白いところですね。いつの世でも革命はパニックから生まれています。山越さんのベルーフ革命はcovid-19から生まれた、と後世に記される名誉を得たいと思っています。

## 就労移行支援事業所ベルーフ

東京都指定障害福祉サービス事業所 1310500739

〒112-0002 東京都文京区小石川5-4-1 瑞穂ビル9階

E-mail [info@beruf.xyz](mailto:info@beruf.xyz) Web <http://beruf.xyz/>

Facebook <http://www.facebook.com/beruf.xyz/>